

日本化学会第100春季年会（2020） 日程表

建物名・フロア・教室名		会場記号	3月22日 AM	P	3月22日 PM	3月23日 AM	P	3月23日 PM	3月24日 AM	P	3月24日 PM	3月25日 AM	3月25日 PM	教室名	会場記号					
講義棟	1F	K101	A1/S1	T2B. グリーン水素製造・利用の学理		T2C. グリーン水素利用技術：東京2020大会を中心に		委) 論説フォーラム「大学革命」		委) 第2回日台シンポジウム				K101	A1/S1					
		K102	A2	T2A. ペロブスカイト光電変換技術：実用化への課題		T2D. 蓄電社会の実現へ：Eモビリティから定置型まで		T2E. 未利用熱利用・エネルギーハーベスティングの課題と未来		T4. シーズ共創セッション～ ホンネで語ろう、産学連携の 新しいカタチ～				K102	A2					
	2F	K103	S2	委) 超分子化学アジア会議						委) TCRレクチャー		委) ジャーナルフォーラム				K103	S2			
				K201	B1			13. 触媒		PB	13. 触媒		アジア国際シンポジウム（物理化学/理論化学・情報化学・計算化学） -分子科学会共催-				K201	B1		
		K202	B2			02. 物理化学-構造		PC	02. 物理化学-構造		アジア国際シンポジウム（光化学）				K202	B2				
		K203	B3			08F. 有機化学-有機光化学			08F. 有機化学-有機光化学→		PA	アジア国際シンポジウム（光化学）				K203	B3			
		K204	B4	08A. 有機化学-脂肪族・脂環式化合物								PC	08A. 有機-脂肪族・脂環式				K204	B4		
		K205	B5	08A. 有機化学-脂肪族・脂環式化合物								PC	08A. 有機-脂肪族・脂環式				K205	B5		
		K206	B6			PB	07A. 有機化学-構造と物性								K206	B6				
		K207	B7			PB	07A. 有機化学-構造と物性								K207	B7				
K209		B8			07B. 有機化学-反応機構		08H. 有機-ハイスループット	PA	←07B. 有機化学-反応機構		08H. 有機-ハイスループット	PC	08H. 有機化学-ハイスループット合成		K209	B8				
K210		B9			13. 触媒		13. 触媒								K210	B9				
3F	K301	C1	14. コロイド・界面化学				14. コロイド・界面化学				アジア国際シンポジウム（コロイド・界面化学）		14. コロイド・界面化学		K301	C1				
			K302	C2	12. 高分子		PB	12. 高分子								K302	C2			
	K303	C3			PB	07A. 有機化学-構造と物性								K303	C3					
	K304	C4			PB	07A. 有機化学-構造と物性								K304	C4					
	K305	C5	99. ケミカルバイオロジー								PA	99. ケミカルバイオロジー				K305	C5			
	K306	D1	99. ケミカルバイオロジー								PA	99. ケミカルバイオロジー				K306	D1			
	K307	D2	04. 物理化学-反応				04. 物理化学-反応								K307	D2				
	K308	D3	03. 物理化学-物性				03. 物理化学-物性				03. 物理化学-物性				K308	D3				
	K309	D4	12. 高分子		PB	12. 高分子								K309	D4					
	K310	D5	14. コロイド・界面化学				14. コロイド・界面化学								K310	D5				
4F	K401	E1	T1B. SDGs時代の素材：セルロースナノファイバー			T1C. インフォマティクスが拓くモノ作りの新しい潮流（I 基礎と応用）			T1D. インフォマティクスが拓くモノ作りの新しい潮流（II 機能材料）			T1A. ヒトとヒト、モノとモノをつなぐためのデバイスとマテリアル			K401	E1				
			K402	E2	21. 理論化学・情報化学・計算化学				21. 理論・情報・計算								K402	E2		
	K403	E3	08G. 有機化学-有機電子移動化学		08G. 有機化学-有機電子移動化学				08G. 有機-有機電子移動化学→		PA	アジア国際シンポジウム（電気化学）								
	K404	E4			22. 有機結晶		22. 有機結晶		22. 有機結晶		アジア国際シンポジウム（有機結晶）				K404	E4				
	K405	E5	T3A. 未来の医療機器・ライフサイエンスを支える先端材料				T3B. 診断・予防化学が切り拓く未来のヘルスケア				T3C. モダリティ新時代を築くバイオベンチャー				K405	E5				
	K406	E6	10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー				10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー								K406	E6				
5F	K501	F1	15. 材料化学				15. 材料化学				アジア国際シンポジウム（ナノテク・材料化学）		15. 材料化学		K501	F1				
			K502	F2	16. 材料の機能				16. 材料の機能								K502	F2		
	K503	F3			PA	06. 錯体化学・有機金属化学								K503	F3					
	K504	F4	05. 無機化学				05. 無機化学				アジア国際シンポジウム（無機化学/錯体化学・有機金属化学）		05. 無機化学		K504	F4				
	K505	F5	08B. 有機化学-芳香族化合物								PC	08B. 有機化学-芳香族化合物				K505	F5			
	K506	G1	10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー				10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー								K506	G1				
	K507	G2	10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー				10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー								K507	G2				
	K508	G3	08D. 有機化学-ヘテロ原子化合物				08D. 有機-ヘテロ原子化合物								K508	G3				
	K509	G4			PA	06. 錯体化学・有機金属化学								K509	G4					
	K510	G5			17. 材料の応用								K510	G5						
6F	K601	S3	委) キャリアバス相談ランチンセミナー												K601	S3				
			K602	H1	08E. 有機化学-有機金属化合物				08E. 有機化学-有機金属化合物								K602	H1		
	K603	H2			PA	06. 錯体化学・有機金属化学								K603	H2					
	K604	H3			PA	11. 分析化学								K604	H3					
	K605	H4	08C. 有機化学-複素環化合物				08C. 有機化学-複素環化合物								K605	H4				
	K606	H5	09. 天然物化学				09. 天然物化学								K606	H5				
	K607	H6	09. 天然物化学				09. 天然物化学								K607	H6				
	K609	H7			PA	06. 錯体化学・有機金属化学								K609	H7					
	K610	H8	08E. 有機化学-有機金属化合物				08E. 有機化学-有機金属化合物								K610	H8				
	7F	K701	S4					コラボ) ナノ空間と物質科学		コラボ) Reaxys Prize Club シンポジウム Japan		委) 働き方改革時代				K701	S4			
K702				S5	企) 放射光小角X線散乱		委) 化学教育フォーラム		特) 外国人の特別講演		中) 生体分子解析と情報科学		中) 革新的触媒		企) ジャイロイドの物質科学		K702	S5		
K703		S6	企) 質量分析が拓く革新的医療技術		委) 化学遺産市民公開講座		中) 生命科学における化学		コラボ) 超空間制御		コラボ) ハイドロジェノミクス		企) ルミネッセンス化学		企) マイクロ波化学プロセス		K703	S6		
K704		S7	企) 細胞分析		企) エネルギーデバイスの新潮流		コラボ) 発動分子科学		中) ナノシート錯体		コラボ) TIA量子反応シンポ		中) 次世代分子システムの化学		企) ナノ構造・物性解析		企) キロプロティカル		K704	S7
K705		S8	企) 分子空間化学		委) 化学と情報科学との融合		コラボ) JST さきがけ1細胞		コラボ) 化学者の新しいキャリア考				企) レチナル蛋白質と化学		企) 機能性色素		K705	S8		
7号館	4F	7407	I1			20. 環境・グリーンケミストリー		20. 環境・グリーン→		PA	20. 環境・グリーンケミストリー		18. 資源利用化学		PB	←18. 資源利用化学		7407	I1	
				7504	I2			←01. 化学教育・化学史		01. 化学教育・化学史								7504	I2	
	7507	I3	19. エネルギーとその関連化学、地球・宇宙化学												7507	I3				
12号館	1F	1211	SA	企) 自然から学ぶ生命化学		委) ナカニシシンポジウム		学会賞		中) 人工光合成						1211	SA			
				13号館	1F	1311	SB	企) 分子レジデンス		市民公開講座 夢をかなえる科学								ノーベル賞受賞記念講演		1311
森戸記念体育館	1F	アリーナ	P					ポスター/展示会										アリーナ	P	
3号館	1F	分析化学実験室	-	実験教室										分析化学実験室	-					

●分類名の前の数字/記号…[01-22, 99…アカデミック・プログラム]、[T1-T4…ATP]、[企…特別企画]、[コラボ…コラボレーション企画]、[中…中長期テーマシンポジウム]、[委…委員会企画]、[特…外国人の特別講演]  
 ●会場記号…[企、コラボ、中、委]の実施時のみS1～SB会場として使用。それ以外はA1～I3会場として使用  
 ●ポスター…森戸記念体育館にて3月22日～24日の3日間で開催。時間帯はPA(10:00-11:30)、PB(12:30-14:00)、PC(15:00-16:30)の3種類

●その他サービス関連  
 ■ 総合受付【7号館 1F】 ■ クローク【記念図書館 1F】 ■ 印刷・試写・LANコーナー【講義棟 4F】  
 ■ 休憩所【講義棟 4F・6F・7F および 7号館 4F】 ■ 年会本部【講義棟 4F】

日本化学会第 100 春季年会(2020) ポスターセッション発表日時詳細

第 100 春季年会のポスターセッションは以下の日程で行います。

2020 年 3 月 22 日(日)～24 日(火) 3 日間

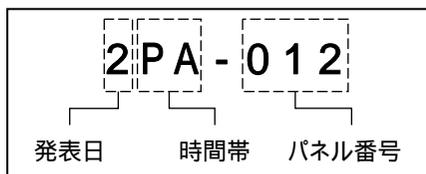
春季年会は 3 月 22 日(日)～25 日(水)

講演番号の見方

発表日...1～3 の数字, 1 日目, 2 日目, 3 日目を表します。

時間帯...PA, PB, PC の 3 種類。詳細は次項を参照して下さい。

パネル番号...001～ ポスターパネルの場所を表す番号です。



掲示・発表・撤去時間

時間帯	内容	時間
PA	掲示	09:30～10:00
	発表	(奇数番) 10:00～10:45 (偶数番) 10:45～11:30
	撤去	11:30～12:00
PB	掲示	12:00～12:30
	発表	(奇数番) 12:30～13:15 (偶数番) 13:15～14:00
	撤去	14:00～14:30
PC	掲示	14:30～15:00
	発表	(奇数番) 15:00～15:45 (偶数番) 15:45～16:30
	撤去	16:30～17:00

発表日時

発表日	時間帯	講演申込分類番号・部門名
1 (3月22日)	PA	01. 化学教育・化学史, 06. 錯体化学・有機金属化学, 11. 分析化学
	PB	07A. 有機化学 物理有機化学 A.構造と物性, 12. 高分子
	PC	ATP ポスター (P1-エネルギー, P2-資源・環境・GSC, P3-新素材, P4-通信・エレクトロニクス, P5-医療・ヘルスケア・バイオテクノロジー, P6-本年度のハイライト分野「新しい有機化学」)
2 (3月23日)	PA	05. 無機化学, 07B. 有機化学 物理有機化学 B.反応機構, 15. 材料化学, 16. 材料の機能, 20. 環境・グリーンケミストリー
	PB	08C. 有機化学 反応と合成 C.複素環化合物, 08D. 有機化学 反応と合成 D.ヘテロ原子化合物, 13. 触媒, 14. コロイド・界面化学, 22. 有機結晶
	PC	02. 物理化学 構造, 03. 物理化学 物性, 04. 物理化学 反応, 10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー, 21. 理論化学・情報化学・計算化学
3 (3月24日)	PA	08E. 有機化学 反応と合成 E.有機金属化合物, 08F. 有機化学 反応と合成 F.有機光化学, 08G. 有機化学 反応と合成 G.有機電子移動化学, 09. 天然物化学, 99. ケミカルバイオロジー (09 天然物/10 生体バイオ合同)
	PB	17. 材料の応用, 18. 資源利用化学, 19. エネルギーとその関連化学, 地球・宇宙化学
	PC	08A. 有機化学 反応と合成 A.脂肪族・脂環式化合物, 08B. 有機化学 反応と合成 B.芳香族化合物, 08H. 有機化学 反応と合成 H.ハイスループット合成